

第五回

第104号
22. 2. 1

発行 編集委員会
事務局 荏原第五地域センター
TEL 3785-2000

二葉中央町会の避難誘導ワークショップ

災害対策に関心の深い荏原第五地区では、新潟県中越沖地震で被災した柏崎市の視察を行った上で、去年3月「防災シンポジウム」を開催しています。そのような全体の動きの中で二葉中央町会では品川区が実施した「防災アドバイザー研修」に高橋副会長が参加、その経験を町会活動に活かして行くため、11月29日に避難誘導ワークショップを実施しました。以下は記録係として参加した編集委員の体験です。

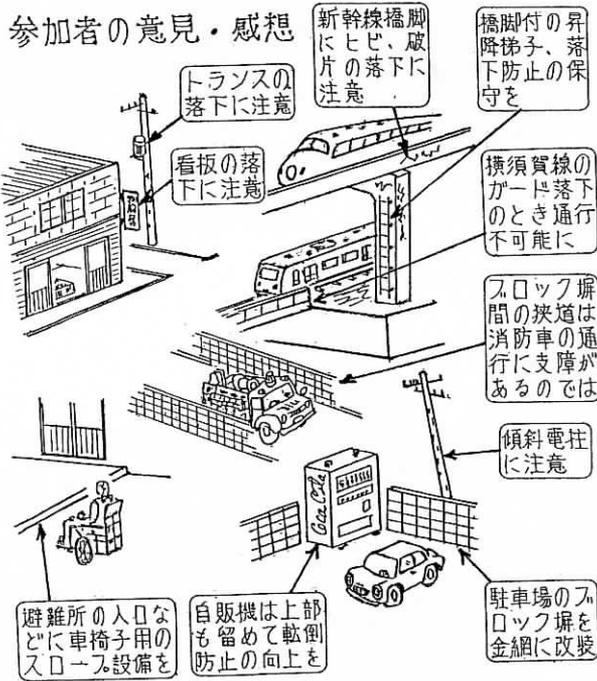
避難誘導ワークショップは、災害時に自力で避難したい要援護者を、地域住民の協力で避難所まで誘導する訓練です。

9時に役員が町会会館へ集合、準備会で決めた役割分担と、2グループに分かれての避難ルートを再確認しました。区防災課や地域センターからも、カメラ等の器材を用意して同行、参加者29名でスタートしました。まず要援護者宅に向かって車椅子に乗せ、あらかじめ検討していたルートを進んで、避難所の杜松小に向かいました。途

中、危険物の存在や改善策のチェックをしたので、まちの状況を改めて見直すきっかけとなったようです。

参加者は、まとめ作業や結果発表、感想や意見交換をおこなった後、町会会館へ戻る途中で、指摘のあった危険・注意箇所等を確認して行きました。会館へ戻り、炊き出し訓練のアルファ一化米を試食して、すべて終了となりました。

私は、祭礼だけでなく、日頃このような訓練を積み重ねて町会員の親睦をますます深めてゆき、災害時の共助への意識を高めていくべきだと感じました。荏原第五地区の町会の中には、AEDや消火器の取り扱い、また避難所に備蓄している簡易トイレの組立訓練等を行なっている所もあります。



参加者の意見・感想

『大洲町会長の結び』

歩いているだけでは分からない危険な所が分かってよかった。今後は老人会にも参加して頂きたい。また、行政や各家庭にも、直すべき所を要請・指摘したい。

豆知識

『建国記念の日と皇紀』

2月11日は『建国記念の日』です。以前は『紀元節』といい、明治政府が神武天皇即位日を設定して、太陽暦採用の1872年に祝日としました。

同時に、陰暦（太陰太陽暦）の1872年12月3日を、太陽暦に変えて1873年

1月1日としましたので、この年は約1カ月も短くなったことになりました。

また日本の紀元を、日本書紀に記す神武天皇即位の年（西暦紀元前660年）を元年として、皇紀の紀年法を施行しました。従って、西暦に660を加えたものが皇紀となります。



住宅用火災警報器の取付け

完了しましたか？

いよいよ本年（平成22年4月1日）から改正消防法がスタートします。火災警報器の設置は済みですか。

一般的な住宅用火災警報器は資格者による工事不要です。ドライバー1本で自分で取付けられ、ホームセンターや量販店等で購入することができます。



また品川区には、65歳以上の方のみで構成される世帯に、『高齢者等住宅用火災警報器の給付事業』により、介護保険料段階で500円又は1365円で設置できる制度がありますので、ご確認ください。申請書は地域センター窓口にてあります。

申請の最終期限は3月31日です。
問合せ 高齢者福祉課庶務係

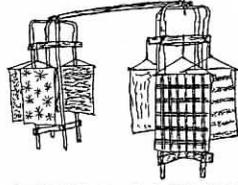
574216728

江戸の話より(その2)

深川江戸資料館

古裂売リ(小布売リ)

江戸の人々の生活は、ほとんどゴミを出さず、エコやリサイクルがごく自然に行われていました。着物は無駄のない直線断ちで、仕立て直し、染め直しが簡単。そのため、人から人へと渡り、全国の着物の半数は古着だったそうです。エコの衣料だったのです。手作りの生活用品は高価なため、修理をして使うのが当たり前。そこで、古着の使えそうな部分から取った色とりどりの端布を、かついで売って歩く『古裂売リ』が商売になり、パッチワークの着物も多かったようです。他にも欠けた茶碗を補修する『焼き継ぎ屋』、生活用品修理の『いかけや』、染物に使うための『灰買い』等、リサイクルの徹底した社会でした。



天秤棒の「古裂売リ」

水茶屋、床店、屋台店

よしず張りでおお休み処の幟があれは、時代劇にも出てくる『水茶屋』、今の喫茶店です。お茶を飲みながら一服、笑い声が聞こえそう。



床店の「天麩羅」屋

『天麩羅』の床店は、居住スペースは無く、移動も出来ない店。串に魚介類を刺して揚げていました。立ったまま食べるフアーストフードと云った処。移動式の『「八そば」いなり寿司』の屋台店等、江戸は武士も町人も単身男性が多かったため、外食店が発達したようです。

船宿

大手の船宿は、諸国から入港する廻船の乗組員の宿、荷物の斡旋、船の用具の手配等を行っていました。資料館に展示されているような小規模なものは江戸市中と周辺での川遊びが主。台所は真鍮製の『へっつい』(カマド



湯船

で酒の燗も出来る)を使うなど、小奇麗な店が多く、トイレもついていました。宴会や岡場所(男女密会の場所)が盛んな頃は、遊女を連れて船遊びをすることもあったそうです。今の金額でひとり2〜3万円もかかり、番頭さん以上の給料でないと飲みに行けません。小舟(猪牙船)を持ち、大きな荷物の運搬や水上ハイヤーとしても使っていました。3〜6千円近くもするので、一般向けではありませんでした。この辺りで、船に浴槽を設備して料金を取って入浴させた船を『湯船』と云い、浴槽の意の語源となっています。

左手で描く

絵手紙に生きがい

中山善弘(二条神明)

平成元年1月朝、出先で倒れて即入院。診断名は脳卒中で右半身動きません。治療とリハビリを約10ヶ月、その後八潮介護センターに一人でバスを乗り換え10年通いました。そこで習った陶器の展示会で、うれしい「区長杯」をいただきました。



受賞作品

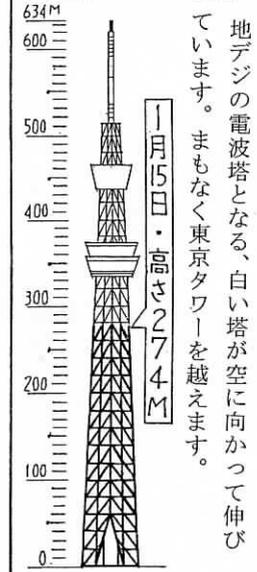


時は、中延やメイプルセンターに通って書き方を教わりました。教室は女性ばかりで男性は私一人、恥ずかしがらずに習いました。また、グラウンドゴルフや障害者ゲートボールにも応募し、戸越体育館に通って身体を動かしました。



3年前に膝を手術して6ヶ月入院、その後足が思うように動かず、歩くことが出来なくなりました。何をやるにしても左手のため苦労ですが、毎日が楽しく明るく過ごしています。

東京スカイツリー情報



地デジの電波塔となる、白い塔が空に向かって伸びています。まもなく東京タワーを越えます。

ゆたかトリムクラブのご案内

昭和52年に設立。なごやかに楽しく、ストレッチ・ラジオ体操・レクダンス・ボールゲーム等を各自のペースで行っています。トリム体操は、健康維持・体力増進と生活習慣病や怪我の予防等を目的とした、誰にでもできる体操です。楽しい会話をしながら行うことで、身も心もリフレッシュされ、ストレスの発散にも効果が有ります。春・秋の遠足、新年会、トリムフェスティバル等、仲間の交流も活発です。

皆さんの参加をお待ちしています。
木曜日 午後7〜9時 荏原四中体育館
会費 3ヶ月二千元
問合せ 阿佐美 浩子(378312246)

びり言

最近、孫がけん玉を買って来たので、懐かしさもあってやってみたところ、玉が皿にも乗らない状態だ。私の小学生時代には、休み時間を利用して校庭で数人がけん玉の競技をやる時、私がトップの成績だったのに、今回の出来の悪さばかり。しかし、膝の運動にもなるしと考え、昔を思い出しながらかつて居る次第です。

仲